



心からの「ありがとう」 6年生を送る会

◎去る3月3日(金)、全校児童による『6年生を送る会』が開催されました。巣立ってゆく6年生に、「ありがとう」の気持ちを伝えようと、各学年が様々な工夫を凝らして準備を進めてきました。卒業を間近に控えた6年生も、後輩たちの優しさに包まれて、楽しいひと時を過ごしました。

前半

○今年も、体育館での密を避けるため、1～5年生まで、6年生の卒業を祝う出し物を事前に撮影しておき、その映像を全校児童が教室のモニターで鑑賞しました。

1年生

この一年で成長著しい1年生。いつも優しくお世話をしてくれた6年生へ、感謝の気持ちをこめて『ありがとうの花』の歌とともに、大きな声で呼びかけを行いました。

3年生

みんなで練習した『ダンス・ホール』の曲に合わせて、リズムカルに踊りました。グループごとに考えた6年生への感謝の言葉は、心がぽかぽか温まるものでした。

5年生

送る会の運営を手分けして行った5年生。リコーダーで『威風堂々』を力強く演奏しました。『ビリーブ』の合唱を、6年生も教室で一緒に歌う姿が微笑ましかったです。

卒業おめでとう6年生

2年生

笑顔いっぱいの2年生。みんなが大好きな『にじのおこうに』を歌いながら、自分たちで創作した振り付けで心を合わせて楽しく元気なダンスを披露しました。

4年生

『赤い屋根の家』の合唱では、2番の歌詞を替え歌にして6年生へメッセージを届けました。『オーラリー』のリコーダー演奏も美しい旋律が胸に響きました。

全員合唱

この日のために毎日給食時間の放送で練習してきた『世界に一つだけの花』を全校児童で心を合わせて歌いました。6年生の教室からも大きな歌声が響いていました。

後半

○6年間を振り返るスライドには、これまでの思い出が詰まっていました。6年生から在校生へのお返しの出し物は、笑いあり感動ありで大いに湧きました。ゲームで盛り上がった後は、いよいよ入場です。

1～5年生が掲げる花飾りのアーチをくぐり6年生の入場です。



○6年生から在校生へ手作りのプレゼント「エコたわし」が紹介されました。在校生から贈られた手作りメダルを胸に、体育館へ移動する6年生を、各学年の廊下で花のアーチを掲げた在校生全員が温かい拍手で見送ります。廊下や階段、体育館の壁面にある、卒業を祝う華やかな掲示物に囲まれて、6年生の入場です。ステージ上に設置されたくす玉の紐を代表児童が引っ張ると、くす玉が開いて『ありがとう6年生・卒業おめでとうございます』のメッセージが現れました。その後、6年生から在校生への感謝と激励の気持ちが伝えられました。伝統のバトンをしっかりと受け取った後輩たちが、6年生が巣立った後、医生丘小学校の新しい未来を立派に築いていってくれると思います。胸を張って、この学び舎を巣立ってほしいと願います。

お世話になります

見守りヘルパー募集中

教育委員会からも、少年サポートチームの方が交代で来校され、ご支援いただいています。



東日本大震災を忘れない

○多くの方が犠牲となった震災から12年目となる今年、3月10日(金)の朝の放送で次のようなお話をしました。その後、哀悼の意を込めて、全校で黙とうを捧げました。ご家庭でも、震災のことについてお子様とお話してください。

今から12年前の3月11日、巨大な地震が発生し、岩手、宮城、福島を中心に大津波に襲われ、原子力発電所が事故を起こし、大量の放射性物質が外にもれ出しました。この東日本大震災によって、これまでにおよそ1万6千人の方が亡くなり、いまだに行方が分からない方が2,500人以上にも上ります。

この12年で、鉄道や道路、街並みなどは元に戻りつつあります。しかし、今でも約4万人の方が故郷に帰れず、避難生活を送っています。

去年、完全試合を達成し、昨日から始まったWBC(ワールドベースボールクラシック)でも活躍が期待される佐々木朗希投手は、9歳の時に、地元の岩手・陸前高田市で地震に遭い、父と祖父母を亡くしました。プロ野球選手として影響力のある立場となった今、震災について、こう語っています。「僕が話すことで、震災について思い出してもらうことに意味があると思います。震災を知らない子どもたちにも、今、普通に過ごしている毎日のことや、身近にいる大切な人たちのことを、当たり前と思わず、大切に向き合ってもらえたらと思います」

医生丘小学校のみなさんにとっては、この震災は生まれる前の出来事で、身近に感じることは難しいかもしれませんが、12年前に震災に遭った人達も、いつもと変わらない1日を過ごしていたのに、一瞬のうちに失われてしまったのです。今、生きていることを「当たり前」と思わず、一人一人が自分や家族の命を守るための行動ができるように、心構えをしておくことが大切です。3月11日という日は、当たり前のように過ごしている一日に感謝し、災害が起きたときに備えて自分ができていることを考える日にしましょう。

それでは、今から東日本大震災で尊い命を失われた方々を思い、全校で祈りを捧げたいと思います。静かにその場に立ってください。今から校長先生が「黙とう」と言います。この言葉を合図に、1分間静かに目を閉じて下さい。よろしくお願いします。では黙とう。

6年生保護者様 卒業式に向けて お願い

○いよいよ16日は、本校第44回卒業証書授与式です。先日もご案内した通り、3月31日までは学校教育活動におけるマスク着用の考え方はこれまでと変わりませんが、卒業式については、感染症拡大防止の対策を講じた上で、児童の安心・安全を確保しながら心温まる式となるよう準備を進めているところです。下記の留意事項をご確認いただき、ご理解・ご協力をお願いします。

○マスクの着用に関する留意事項

【児童・教職員】

- ・式全体を通じてマスクを外すことを基本とします。
- ・国歌・校歌等の斉唱や合唱、複数の児童による呼びかけの際はマスクの着用等感染症対策を講じます。

【保護者・来賓等】・マスク着用を基本とします。感染対策上での参加人数制限は設けません。

※感染不安や健康上の理由等、様々な事情によりマスク着用を希望する児童もいることから、マスクの着脱を強いることのないよう配慮します。ご家庭でもお子様と話し合わせてください。

